

概要

本試験は、漢字や語句に関する知識の定着度を測るとともに、論理的文章・文学的文章を読み、その内容を正確に読み取る能力を十分に備えているかを問うものである。

第 1 問

漢字や語句についての知識に関する問題の小問集合である。いずれも、基礎的な知識を問うている。

問 1・問 2

常用漢字の書き方と読み方を正確に覚えているかを問う問題である。

問 3・問 4

熟語の対義語・類義語を判断できるかを問う問題である。

問 5

敬語の分類を正確に覚えているかを問う問題である。

問 6

故事成語の意味を正確に覚えているかを問う問題である。

問 7

四字熟語の表記を正確に覚えているかを問う問題である。

問 8

口語文法における品詞分類の規則を正確に覚えているかを問う問題である。

第 2 問

3500～4000字程度の論理的文章の読解問題である。

特定の分野に関する文章ではなく、日程間で多様な分野から出題しており、それらに関する知識を持っていなくても文章から正確に情報を読み取れるかどうかを問うことを意図している。問題の形式はすべて選択問題で、接続詞などの語句挿入、文章の内容を問うている。また、文章の内容だけではなく、ある段落が文章においてどのような役割を果たしているかを判断できるかも問うている。

第 3 問

3500～4000字程度の文学的文章の読解問題である。

いずれの日程でも小説を出題しており、登場人物の心情や文章の内容を、主観を交えることなく、客観的に読み取れるかどうかを問うことを意図している。問題の形式はすべて選択問題で、文中の語句の意味、接続詞などの語句挿入、文章の内容を問うている。

論理的文章・文学的文章のいずれについても、本文の内容はもとより、選択肢の内容も正確に読み取り、正誤を判断する能力を測ることを意図している。